

M3 M5 M6





奥深い醍醐味、 BMW Mシリーズ。

モータースポーツへの挑戦は、 優れた市販車の開発のために。

幾多のレースで勝利を収め、選手権を獲得し、そして数々の栄光の記録を樹立し続けてきたBMW。車の歴史においてBMWほどモータースポーツと密接に結び付いて語られる名称はありません。BMWは数十年も前から、勝利へと駆り立てる情熱や意志が、技術上の新たな前進に結び付くことを理解していました。それは、革新的なアイデアやコンセプト、そしてテクノロジーの真価を、市販車として生産を開始する前に苛酷なレース場で実証するという考え方です。このことから、今日に至るまでの全てのBMW車がモータースポーツでの成功を身につけている理由を知ることができます。

半世紀に渡って勝利を続ける BMWレーシングカー。

バイエリッシュ・モーターレン・ヴェルケ (BMW) が、自動車の製造を開始したのは1920年代の後半でした。そして直ちに、モータースポーツで初めての大きな勝利を獲得しました。1929年の国際アルペン・ツーリングで、

BMWが1位から3位までを独占したのです。しかし、これも輝かしい歴史の始まりを告げるひとコマにすぎません。BMW328が姿を現したのは1936年のことでした。2ℓクラスで初めて直列6気筒を搭載するとともに、最先端テクノロジーを投入した紛れもないスポーツカーの血統でした。勝利者になるべくして生まれ、時を経ずして全てのモーターファンの憧れの的となったのです。1960年代の初め頃、次々と大きなモータースポーツ・イベントが開催されました。BMW1800のスポーツ・バージョンである1800TIそしてTI/SAは、一般道路でもレース場でも無敵ともいえるほどの実力を示しました。標準仕様でさえ高速かつダイナミックな走りを発揮するこの2台のセダンは、ツイン・キャブレターと5速スポーツ・ギヤボックスを装備したレーシング仕様により、勝利を欲しいままにしたのです。

1970年代の初頭には、燃料噴射装置を付けたBMW2002tiiが登場し、一般道路で最高出力130ps/5,800rpmという当時としては驚異的なパワーを発揮。市販車やツーリングカー・レース用モデルの模範ともいべき

位置を占めました。そしてわずか数年の後、今度は3.0ℓのBMWクーペの出現によってハイパフォーマンス・テクノロジーの新たな水準が確立されたのです。

全世界のレース場で成功を収める BMW社モータースポーツ部門。

同様に、1972年に発足したBMW社モータースポーツ部門の存在も、BMWの性格を明快に物語っています。この部門は、BMW本社の関連セクションとして、白と青のエンブレムを代表する数多くのプライベート・チームを援助する責任を与えられています。BMW社モータースポーツ部門は、初めてBMW3シリーズのレーシング仕様を作り、ドイツのモーター・レーシング・チャンピオンシップでの勝利をもたらしました。さらに、この部門に所属するエンジニアの手によって勝利を収めたモデルは、6シリーズのクーペ、続いてツーリングカー・レースにおいて数々の選手権を獲得したBMW528iでした。1986年には、BMW635CSiが3度目のヨーロッパ・ツーリングカー・チャンピオンシップを獲

得。これは、わずか6年の間に成し遂げられたもので、BMWのモータースポーツ史にまたひとつ大きな足跡が記されたのです。また、BMW社モータースポーツ部門は何年にもわたり、フォーミュラカー・レースにおいても成功を収めています。1965年に開発された高性能4気筒16バルブ・エンジンは、フォーミュラ2(F-2)ヨーロッパ・チャンピオンシップで6度のタイトルを獲得し、全世界でも数多くの勝利を収めてきました。このチャレンジは、1982年にBMWが世界最高峰のレース、フォーミュラ1(F-1)に進出する基盤を築きました。そしてわずか1年後、F-2同様に市販車エンジンをベースに開発されたMパワー・エンジンにより、ブラバムBMWチームは待望のF-1ワールド・チャンピオンの座を獲得したのです。

**“M”、それはBMWに脈打つ
チャレンジ・スピリットの象徴。**

1978年、初めて“M”がBMW車の特徴づける文字として採用されました。それが、BMW MIです。このモデルは、先ずレーシングカーとして開発し、市販車生産されたミッドシップ・スポーツカーでした。搭載された直列6気筒3.5ℓ/24バルブDOHCエンジンは、まずエンジニアたちの称讃を集め、やがてレーシング・ドライバーたちにも高く評価されました。そして、MIは、世界各地のメイクス・チャンピオンシップやプロカー・シリーズ(ワンメイク・レース)でレーサーや観戦者たちの人気を集めました。

**レース場から一般路へ発達した
強靱なハイパフォーマンス。**

少数のレーシング・ドライバーたちだけが体験できる奥深い走りの世界。BMWは、その醍醐味を市販車にダイレクトに投入しました。それが、グループAレーシング用のベーシック・モデルとして開発され、路上で走行できる認可をも受けたBMW M3。手作りの高品質と快適な居住性、強烈なハイパフォーマンスを格調高いセダンのボディに体現したBMW M5。そして、優美なクーペのスタイリングにモータースポーツの圧倒的なダイナミズムを統合したM6の3車種です。

**単に速く走るためではなく、
その真価はトータルな卓越性に。**

BMW Mシリーズは、ただ単に路上を速く走ることだけを目的として開発されたわけではありません。

BMWが考えるハイパフォーマンス・コンセプトは、高速時にも安全で快適な走行を約束するシャーシ、高性能なサスペンションと、ワインディング・ロードを安全に走るためのスポーティなハンドリング、パニックブレーキの際にも安全を確保するセーフティ・システム、機敏な行動を可能にするハイパワーなエンジン、高品質な仕上げ、エクスクルーシビティなど、数多くの要素を含んでいます。BMWは、これらの要素が路上でその卓越性を発揮してこそ意義があると考えています。

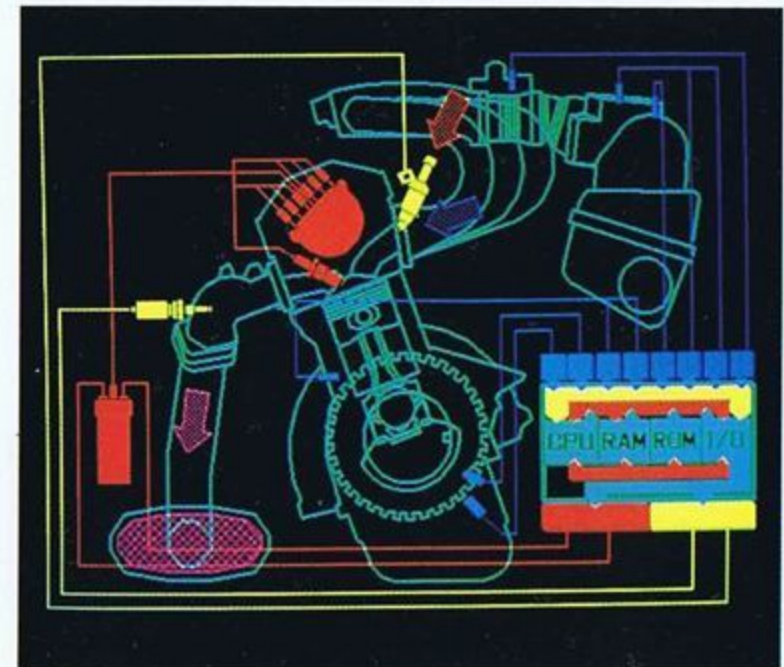
言い換えれば、モータースポーツにおいて勝利を得るための要素も、公道においてより快適に、より安全に、より速く、そしてより自由に人々を移動させることに活かされてこそ意義がある、ということです。スポーティ・パフォーマンスは、市販車における卓越性実現のための基本的な要素であり、運転する喜びをも得るための、本質的なBMWらしさの原点でもあるのです。

モータースポーツで長年に渡って培った成果をダイレクトに継承したBMW Mシリーズ。優れたBMW車の中でも、特に熟達したドライビング技術を持たれた少数の方のために、手作りで少量生産されるモデルです。レース場で数々の成功を収めてきたエンジニアたちの手によるレーシングカー直系の醍醐味、そして、真の卓越性をご体験ください。

本カタログ中の記載および写真には日本仕様と異なるものもあります。また、一部オプション、特別注文も含まれます。



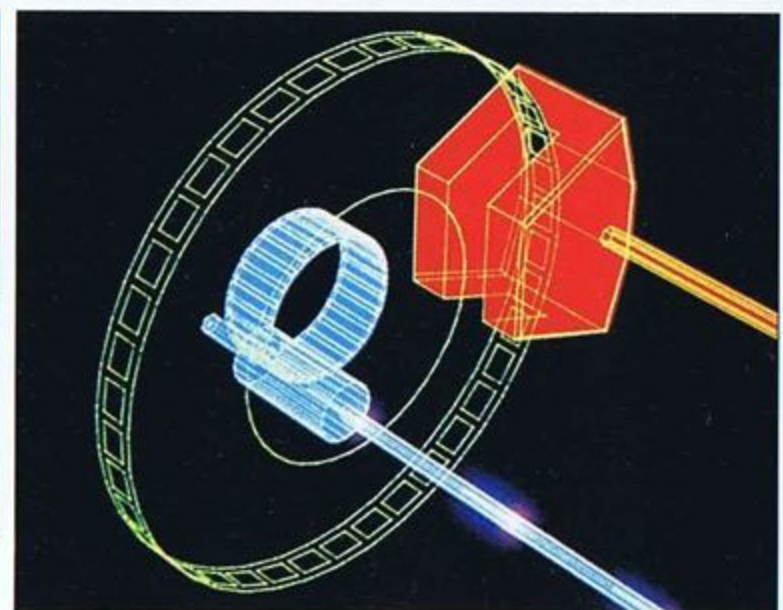
BMW車は1986年のシーズンにおいて、2つのレーシング・カテゴリーで圧倒的な強さを見せた。この年のハイライトはスパ24時間耐久レースであり、BMW車が1位から5位までを独占。さらに、BMW635CSiに乗ったロベルト・ラヴァグリアはヨーロッパ・チャンピオンシップを獲得した。



燃費の向上は生産車だけでなく、レーシングカーにおいても重要な命題である。BMWはDMEと呼ばれる高度なエンジン制御システムを、生産車とレーシングカーの双方に導入して、成果を上げている。



BMWは20年以上も前に、4気筒16バルブ・エンジン開発の記録を残した。この分野のバイオニアとして、BMWはハイパフォーマンスカー作りに優れた手腕を発揮している。



BMWは最高出力が170psを超えるすべてのモデルに、ABSを標準装備している。BMWのパフォーマンスに対する考え方には、最高レベルの安全性の確立も含まれる。





スペシャリストが創り上げた、 スペシャリストのための車。

BMW M3はあのM1と同様に、純粋なレーシングカーとして設計されました。ツーリングカー・レース参戦を目的として、BMW社モータースポーツ部門が開発し、通常のドライビン

グにおける優れた操作性と信頼性までも併わせ持った車です。

BMW M3のユニークさは、その外観を一目見ただけで分かります。張り出したサイド・パ

ネル、ワイドなスポーツ・ドア・シル、低い位置に取り付けられたフロント・スポイラー、特長あるリヤ・ウイング、デュアル・テールパイプ、そしてリヤの精悍なエアダム。これらのスタイ

ルは、ただひとつの目的のために統合されました。

その目的とは、言うまでもなく、BMW M3を最高レベルのスポーツカーおよびレーシングカーとすることです。特徴的なホイール・アーチは最大10インチ幅のレース用ホイールを取り付けるためであり、フロント・スポイラーは確実な路面追従性をもたらす、ブレーキとオイル・クーラーに充分なエアを送る役目を果たします。

BMW M3の空力性能はリヤ・ウイングの働きも加わって、高速走行時にダウン・フォースを生み出します。レーシングカー特有の優れた操縦性と安全性を高度に統合した車、それがBMW M3です。

**入念な設計が生み出した、
しなやかな強靱さ。**

BMW M3は非常に印象的な外観を持っています。そして、それらはスタイルのユニークさを狙ったわけではなく、優れた機能を発揮す



BMW M3のバッジ：BMW社モータースポーツ部門のシンボル・カラーが、最高級のモータリングの歓びを保証。

るよう入念に設計されています。たとえば、リヤウインドー・スポイラー、トランク・リッド、エア

ダムおよびバンパーは特殊プラスチックと合成ガラス・ファイバーで形成されています。これによってボディが軽量化され、パワー・ウェイト・レシオが大幅に向上しました。フロントおよびリヤウインドーは、完全にフラッシュ・サーフェス化(ボディと同一面で接合)されています。このフラッシュ・サーフェス化によって、空カスタイリングだけでなく、安全性およびボディ剛性も向上しました。

**風を味方にする、
空カスタイリング。**

BMW M3は他の3シリーズ車に比べ、リヤのルーフピラーがさらに幅広くなっています。リヤウインドーの角度も滑らかになり、トランク・リッドもより高く、より短くなりました。これらのデ



ザインによって、クーペの風格までも感じさせる、このクラスで最もダイナミックな2ドア・セダンが誕生したのです。

張り出したサイド・パネル、ワイド・タイヤを採用し、しかも0.33という優れたCd値を実現。BMW M3は入念な設計によって、躍動的なパフォーマンスと優れた空力特性を統合しています。

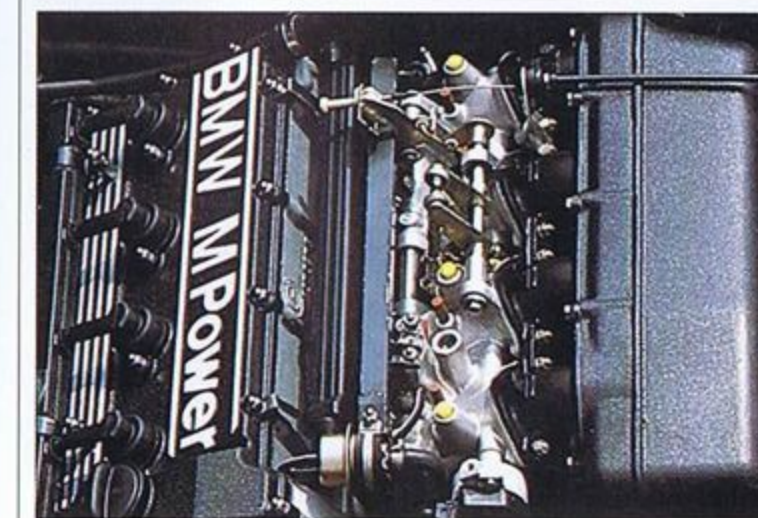
ワールド・チャンピオンシップを獲得したエンジン・ブロック。

BMW M3のパワーユニットについての記載は、宇宙工学のレポートを続んでいるような気分させます。このエンジン・ブロックは、1,000psもの出力を生み出すフォーミュラ1のものと同じです。

シリンダー・ヘッドの基本設計はBMW M1と同一です。4本の吸排気バルブは38°の角度で配置され、非常にコンパクトな燃焼室を備えています。そして、カップ・タペット付きのダブル・オーバーヘッド・カムシャフトが、最適な混合気を燃焼室に送り込みます。

困難な走行状況下にあっても、クールさを失わないエンジン。

BMW M3の空前のパワーは、直列4気筒エンジンから生み出されます。この直列4気筒エンジンはあらゆる状況において柔軟に対応します。比較的短いクランクシャフトを採用しているため、エンジンにはねじれ振動がほとんど発生しません。

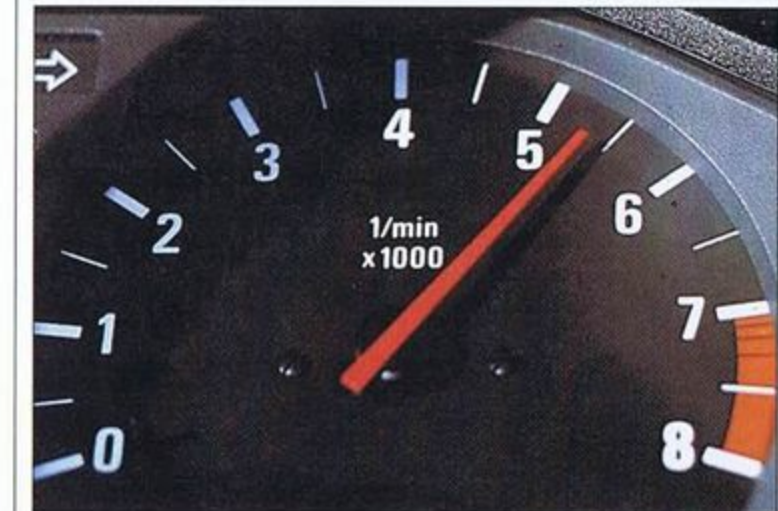


見るだけで魅了されるBMW M3のMパワーエンジン。精悍なデザインが、モータースポーツのダイナミックな息吹を伝える。

レース場で戦うことを目的として生まれたBMW M3。7,000回転以上をレッドゾーンに設定したタコメーターが、BMW M3のモータースポーツの血統を明確に語ります。

先進性と高効率を図る、エンジン制御システム。

あらゆる状況で最高レベルのパフォーマンスと滑らかなアクセル・レスポンスを得るために、2.3ℓのパワーユニットには最先端のエンジン制御システムであるDME/デジタル・モーター・エレクトロニクスを採用しています。BMWはエンジンのエレクトロニクス制御テク



タコメーターのレッドゾーンは7,000回転から始まり、レプリミットに至ると燃料がカットされ、安全性を維持する。

ノロジーのパイオニアであり、その卓越した技術力がM3にも投入されました。DMEは数千分の1秒という時間に、わずかな変化を感知し、エンジンを精密に制御します。気圧、外気温度などからデータを得て、最高の効率でエンジンを回転させるのです。

BMW M3のエキゾースト・マニホールドは、最大のパワーを生み出すために、バック・プレッシャーの発生を最少限にとどめるような形状で、エキゾースト・パイプに接続されています。

どこまでも速く、あくまでも信頼性に満ちて。

驚異的なパフォーマンスを生み出しながら、BMW M3のパワーユニットは通常走行や渋滞時の走行においても優れた信頼性を発揮します。滑らかなトルク・カーブを描く洗練されたエンジン特性によって、スポーツカーの常識を超えた扱い易さを実現。寒冷時のエンジン始動や、渋滞している道路を走行する場合でも、この車は際立った操作性と信頼性を発揮します。時には気むずかしい面を持つ一般のレーシング・エンジンと、BMW M3は完全に一線を画しています。

タイヤ・スリップとは無縁の、高性能サスペンション。

BMW M3のトランスミッションは、過酷なレー

スに耐えうように設計されています。エンジンのパワーは強化されたマニュアル・トランスミッションと、25%のロックキング・アクション付きリミテッド・スリップデフを通じて、ホイールまで伝達されます。加速時には最適なホイール・グリップを生み出すため、タイヤ・スリップを最少限に抑え、強大なパワーが路面まで伝えられます。

フロントアクスルにはシングルジョイント・スプリングストラット、リアアクスルにはセミトレーリングアームを採用。強化型アンチロール・バーも前後に備え、高速コーナリング時にも確実な走行安定性を発揮します。しなやかなサスペンションはレスポンスに優れており、スポーティ・ドライビングの醍醐味を楽しませてくれます。さらに、ガスプレッシャー式ショック・アブソーバーの採用によって、路面追従性はさらに高められています。

限界状況下においても 安全を約束する優れた操作性。

BMW M3のサスペンションは、自然な操作感を生み出すよう設計されています。通常の場合、車は限界状況を超えようとする、オーバーステア傾向を示します。このような場合でも、BMW M3のドライバーはナチュラルな操作感覚のパワー・ステアリングによって、素早くポジションを立て直すことができます。たとえ、高速でコーナーを曲がる場合でも、高い安全性が約束されているのです。もちろん、ブレーキも最高レベルを満たすよう設計されています。フロントには大型のベンチレーテッド・ディスクを採用し、リヤブレー

キ・キャリパーも大幅に強化しました。4つのコントロール・サーキットを持ったABSも標準装備。クロス・スポークの7J×15ライトアロイ・ホイールと、205/55VR15のワイド・タイヤの組み合わせによって、制御距離も非常に短くなっています。

この高度なサスペンションはレース場だけでなく、世界中のあらゆる道路においても、卓越した性能を発揮します。

レーシングカーでありながら、 それ以上の存在。

通常の場合、レーシングカーは車内にロールオーバー・ケージとわずかなサポート・バーしか備えていません。しかし、BMW M3は真のスポーツカーでありながら、人間工学に裏付けられた多彩な機能を備えています。すべてのコントロール装置や計器は、ドライバーを包み込むように、半月型のパネル上にレイアウトされています。それぞれのスイッチ、ディスプレイ、メーターはあるべき位置に正確にセットされています。このため、ドライバーの手や目は、目指す装置や計器に自然に向けられることになります。

世界中で高い評価を受けたSI/サービス・インターバル・インジケータ、アクティブ・チェック・コントロールなどの電子装置もコックピット内に置かれており、優れた機能を発揮します。BMW M3には他の3シリーズ車とは明らかに異なる、特別な機能も組み込まれています。たとえば、最大70ℓの容量を持つ燃料タンク容量と燃料ゲージもそのひとつです。そして、通常の3シリーズのEC/エネルギー・コントロ

ールは、エンジン・オイル温度ゲージに置き換えられています。速度計は260km/hまで表示され、赤い指針がさらに視認性を高めました。そして速度計と回転計の間にあるMのマークはこの車が特別製であることを明らかに語っています。

車の外観に調和する、 洗練されたインテリア。

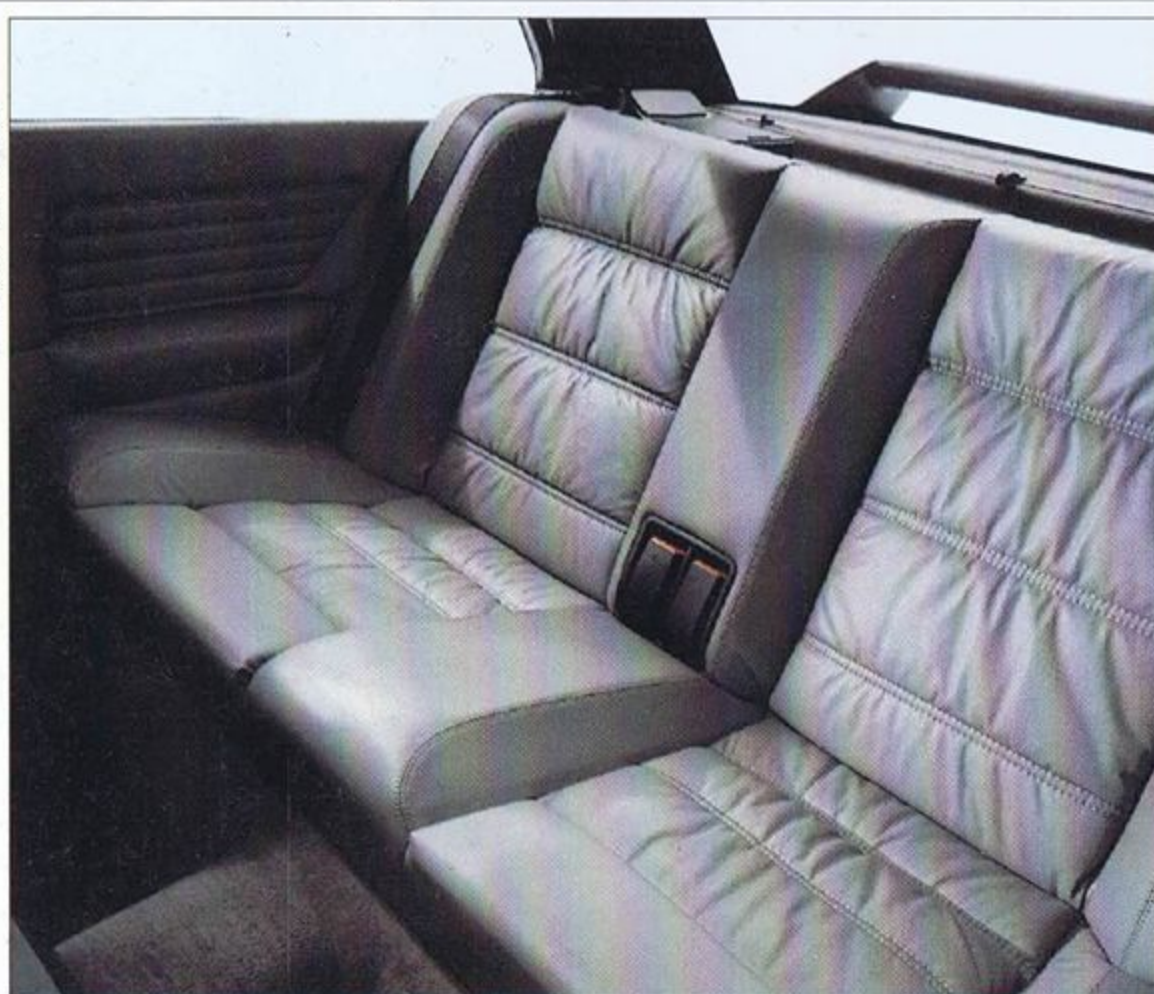
BMWスポーツ・シートの高水準の品質、快適さ、レース使用を前提とした優れたホルド力は他車では見出すことができません。座面長の調整も含む数々の調節機能によって、ドライバーは最も快適なポジションを設定することができます。その結果、人とマシンが一体化し、大きな安心感が生まれます。この素晴らしいフィット感は、Mテクニック製のレザー・スポーツ・ステアリングによって、一段と深められています。扱い易いサイズ、確実なグリップが、俊敏なハンドル操作を可能にしました。

後部座席のシートは2人乗り用として、ゆったりと設計されており、急カーブでも確実なサポート力を発揮します。BMW M3のクオリティの高い装備は、他のどのようなクラスのスポーツカーにも見ることはできません。

レースを目的とした、 奥深いドライビングの歓び。

しかし、この車の真価はどのように言葉を重ねても、語り伝えることはできません。BMW M3の真価、それはドライバーが実際に体感するドライビングの奥深い歓びです。絶妙な操作性、革新的テクノロジー、貫かれたスポーツ性。言い換えるなら、BMW M3と共に走り深めるほどに、新たなドライビングの歓びが生まれるのです。レースで競い合うことを目的として、美しく精悍に引き締められたボディ。そこには最良のパフォーマンスとエレガンスが、ひとつに融合しています。

居住性に優れたBMW M3の後部座席：他のスポーツ・モデルとは一線を画し、他の3シリーズ車と同様にセダンならではの十分な居住空間を持つ。M3の卓越性は、後部座席でも体験することができる。





最高出力260psを生み出す、 24バルブの最強セダン。

260ps、24バルブ、4ドア。この端的な表現の中に、BMW M5のすべてが含まれています。もし、車について深い知識を持たれた方が、260ps/6,500rpm、直列6気筒24バルブ・エンジンという表記を見れば、すぐに純粋なスポーツカーを思い浮かべられるに違いありません。しかし、この車には4ドアという表記が付け加えられるのです。セダンでありながら、最強のパフォーマンスを生み出す車、それがBMW M5です。

BMW M5の外観は5シリーズに共通の、深みのあるエレガンスを伝えています。煩わしさを感じさせないライン、端正なスタイリング。しかも、ボディに付けられたMのバッジが、この車が特別な存在であることを物語っています。

BMW M5のベースとなる5シリーズのボディ・シェルは、BMWファクトリーで37ステップもの防錆処理を受けます。その後、そのボディ・シェルはBMW社モータースポーツ部門に運ばれ、入念な製造工程を経て、Mシリーズの名にふさわしい品質と性能が与えられます。もちろん、これらの作業は熟練したクラフトマンの手によって行われます。BMW M5は手作りの車ならではの、稀少性を備えています。見識ある方の高度なニーズにお応えするために、納車の前には特殊ライトによって、塗装状態が1インチ毎に検査されます。熟練した検査官であっても、自然光の下では見つけることが難しい微細な傷すらも、このシステ

ムによって確実に発見することができます。

控え目なボディに隠された、 強烈なMパワー。

BMW M5は生産台数が非常に限られており、この車を通常の工場生産車と考えることは間違いかもしれません。すべてが手作りの少量生産モデルあることを考え合わせれば、その感はますます強くなります。この車は少数

BMW M5: 控え目なスタイリングの中に、
懐み深さと卓越性のシンボル。
に、強烈なスポーティ・ダイナミズムを秘める。

のオーナーのために用意された、特別仕立ての車なのです。厳選された卓越性、希少性、実用性、高品質、そして信頼性。BMW M5はこれらのすべてを高次元で統合しています。この車のドライバーは強力なパワーを外観上では誇示することなく、ステアリングを握りながら、ゆったりと、心ゆくまで享受することができます。しかし、控え目なボディのポ



ンネットが開けられ、パワーユニットが現われた瞬間、その強烈な存在感は周囲を圧倒することでしょう。ボンネットの中に収められた直列6気筒24バルブ・エンジンは、見る者すべてを魅了します。

ボンネットの中で脈打つ、 スポーツカーの心臓。

ガスプレッシャー式サポートの動きでボンネットが滑らかに開けられた時、そこに出現した自動車工学の傑作に、すべての人は目を見張ります。マット・ブラック塗装のエアフィルター・ハウジングとバルブ・カバーの上に輝く、Mパワーの文字は、このエンジンがサラブレットの血統を持っていることを示します。このエンジンこそ、自動車工学がもたらした最新の成果なのです。直列6気筒3.5ℓエンジン、ダブル・オーバーヘッド・カムシャフトで駆動される24バルブ、6個のインテーク・マニホールドとスロットル・バタフライ。燃焼室はフォー

ミュラIと同等の基準で設計されています。そして、特殊ピストンとコンロッド、12個のカウンター・ウエイトを持つクランクシャフトを採用しています。

数千分の1秒、 このわずかな時間の中で。

DME/デジタル・モーター・エレクトロニクスは、最適なエンジン制御に貢献します。特殊なコントロール・グリッドを内蔵し、センサーやエア・ボリューム・メーターからデータを得て、DMEは燃料の噴射量と点火時期を数千分の1秒というスピードで精密にコントロールします。これによって、最適な燃焼と効率が確保されるわけです。燃料は理想値に従って正確に供給されます。ガソリンの一滴すらも無駄なく使用されるのです。

BMW M5は高圧縮パワーユニットの温度を適正に保つために、精巧な冷却システムを採用しています。それは、エンジン温度によ

って2段階に作動する電動ファンです。

スポーツカーとセダン、 両車の資質を備えた車。

以上のような革新的テクノロジーの導入によって、BMW M5は目覚ましい性能データを発揮します。最高出力260ps/6,500rpm(DIN)、最大トルク33.6kgm/4,500rpm(DIN)。最新の自動車工学の成果が注がれたこのエンジンは、ミッドシップ・スポーツカーであるBMW M1のエンジンをベースにし、改良につぐ改良を重ね、すべてがリファインされています。スポーツカーであり、しかもセダンの快適さを備えた車、それがBMW M5です。

あらゆる速度領域において、 最高の路面追従性を実現。

ある車の性能を調べるには、あらゆる道路で、極限状態の挙動を確かめることが最も良い方法です。高度なニーズを持たれたドラ

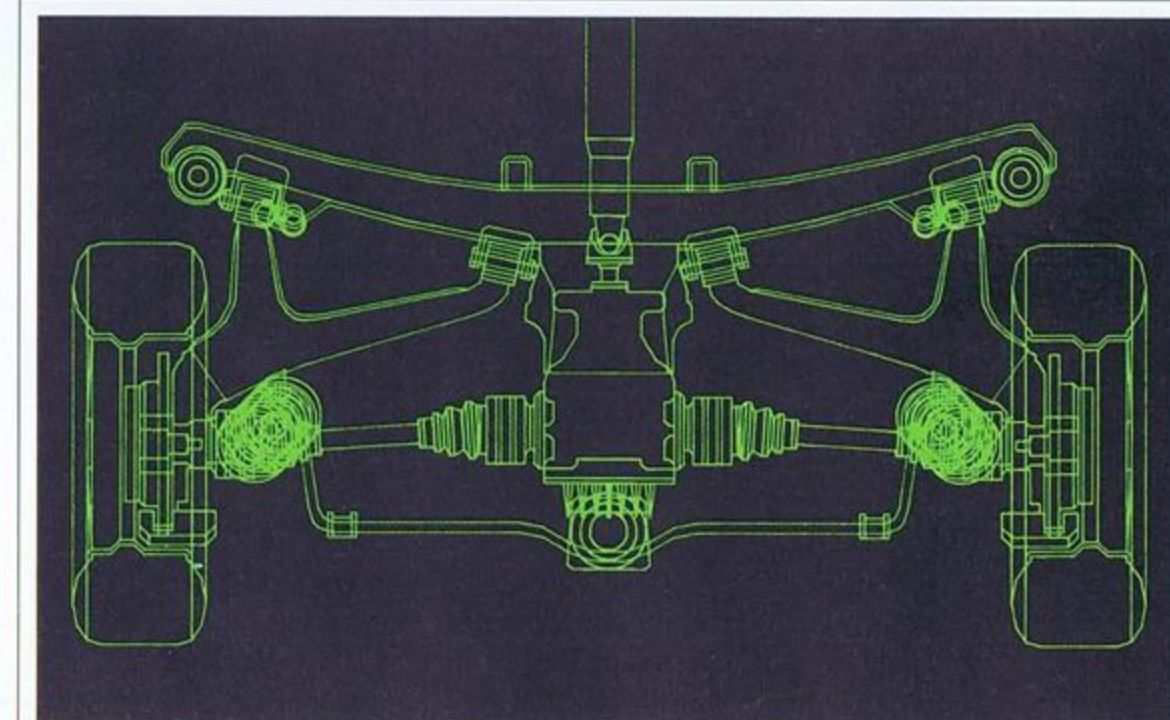
イバーのために、BMW社モータースポーツ部門のエンジニアたちはM5のサスペンションを、様々な状況を設定したテストコースで徹底的に鍛え上げ、スポーティな操作性と長距離ツーリングの快適さを与えました。強烈なパワーは5速スポーツ・ギヤボックスと、25%のロックアップ・アクション付きリミテッド・スリップデフを介して、セミトレーリング式のリアアクスルまで伝達されます。フロントとリアのガスプレッシャー式ショック・アブソーバーの採用によって、路面に対する素晴らしいグリップ力を発揮します。足まわりには7.5J×16ライトアロイ・ホイールと225/50VR16タイヤを装着。高速コーナーやヘアピン・カーブでも、路面に吸い付くような走りを見せ、高い安全性を発揮します。

ドライビングの喜びを、 さらに深めるために。

エンジン回転数感応式パワーステアリングは、速度が増すにつれてパワーアシストが減少し、高速走行時でも抜群のフィーリングを伝えます。直進安定性、そしてヘアピン・カーブでの優れた操作性は特筆に値します。傑出した路面追従性の実現には、大型のアンチロール・バーも役立っています。BMW M5

に乗るドライバーは4ドア・セダンでありながら、まるで小型レース用スポーツカーを運転しているような錯覚に陥るかもしれません。この車は抜群の居住性と、俊敏な操作性を両立しています。

BMW M5は高性能ブレーキ・システムを装備しています。フロントには大径で厚みのあるベンチレーテッド・ディスク・ブレーキを採用。リアのフィスト・キャリパー・ディスク・ブレーキ



入念な設計によって生まれ、傑出した操作性を誇るサスペンションシステム。BMWはM5開発に最先端テクノロジーを積極的に導入し、余裕ある安全性を確立している。

は、ピストンの口径も大型化されました。ブレーキ・サーボも強大なパフォーマンスに合わせて改良され、標準装備のABSもあいまって、いかなる状況でも優れた安全性を確保します。

この車はあらゆる舞台上で実力を遺憾なく発揮します。たとえば、オーナーがこの車でレース場を走ってみたいと思いついたとしても、十分に期待に応えることができます。事実、BMW M5はニュルブルクリンクのテストコースで、数多くの過酷な走行を成し遂げてきたのです。

過剰になることなく、 厳選された装備を採用。

BMW M5は充実した標準装備を持っています。エア・コンディショナー、セントラル・ロックシステム、フロントとリアのパワーウィンドー、遮熱グリーン・ガラス、加熱式ドア・ロック、ウォッシャーノズルにいたるまで、すべてが標準装備になっています。BMWスポーツ・シートは高さや角度はもちろん、座面長までも調節できるようになっており、あらゆる体形のドライバーにフィットします。テレスコピック・アジャストメント機能を持ったMテクニック製のレザー・ステアリングも加わって、常に理想的なドライビング・ポジションを設定することができます。

ドライバーを包み囲むようにセットされた凹面のインストゥルメント・パネルは、人とマシンの理想的なインターフェイスを創造しています。すべての装置はあるべき箇所に置かれ、操作を迷う可能性はまったくありません。

知性を感じさせる、 最新のエレクトロニクス装置。

BMW M5はアクティブ・チェック・コントロールも装備しています。この装置は車の重要な機能を管理し、ドライバーに情報を伝達します。その守備範囲はブレーキ・ライトやロービーム・ヘッドライトなどの照明類をはじめとして、ウインドー・ウォッシャー液レベル、エンジン・オイル・レベルなどに及びます。たとえば、オイル・レベルがある程度まで下がった場合には、十分な余裕をもって警告が与えられます。また、ウインドー・ウォッシャー液レベルが少なくなった時には警告が発せられます。点検時期を自動的に知らせてくれるSI/サービス・インターバル・インジケータと併用することで、

車の保守はさらに安心なものになります。標準装備の中には、オンボード・コンピュータも含まれています。その機能は盗難防止、予想到着時間の表示、目的地までの距離表示など、実に多彩なものがあります。さらに冬期には道路凍結の警告をする外気温モニターが役立ちます。操作はターン・インジケータ・レバーからリモート・コントロールすることができます。

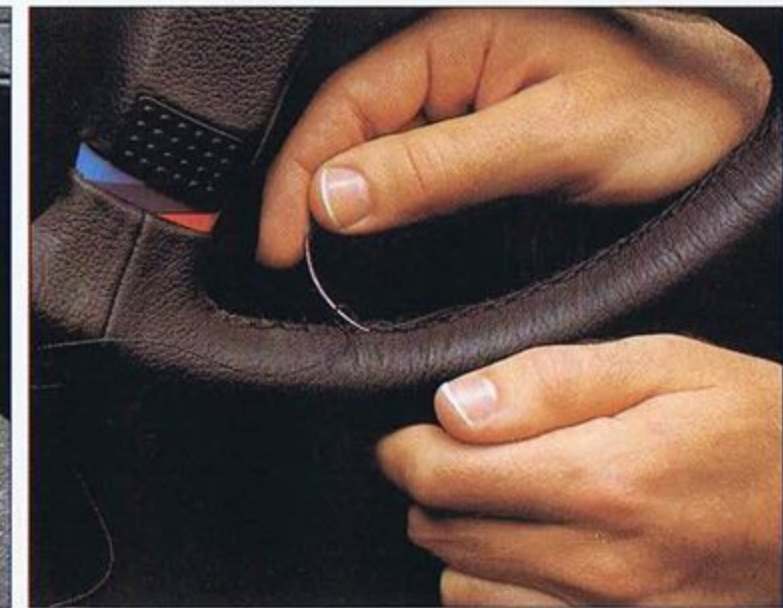
もちろん、BMW M5は定評ある5シリーズの

は、パフォーマンスとダイナミズムの欠如を、派手なスタイリングや装備でごまかしがちです。しかし、BMWはあくまでも傑出したパフォーマンスを、気品あるスタイルに融合させることで、本物の格調高さを追求しています。BMW M5は卓越性に新たな基準を設定しました。派手な外観ではなく、内面的な価値が遥かに雄弁であることを証明したと言ってもいいでしょう。

それゆえ、BMW M5は『控え目ながら水準の



クロスレシオの5速スポーツ・ギヤボックス、ショート・ストロークのシフトレバー



最高級の素材を厳選して、装。際立った雰囲気と優手作りで仕上げられた内
を。際立った雰囲気と優手作りで仕上げられた内
を。際立った雰囲気と優手作りで仕上げられた内



後部座席も身体にフィットするよう個別に設計。同乗者に素晴らしいモータリング体験を提供。

すべての特長を継承しています。広々とした車内、大きな容量のトランク、そして快適性を重視したスタイリング。空力特性を重視するあまり、ウインドーを極端に傾斜させ、夏期には車内の温度が急上昇するような車と、BMW M5は明確な一線を引いています。

気品あるスタイリング、 そして最強のパフォーマンス。

伝説的なM1のエンジンをさらに改良した、直列6気筒24バルブ・ユニットを搭載する車、BMW M5。うわべだけのスポーティカー

高いライフスタイルを有し、本物の車を見分ける目を持ったモーターファンにとって、まさに理想的な選択である』(アウト・ツァイトウング誌)という評価を与えられたのです。また、『群を抜くパフォーマンスを持つ車が路上で優秀さを見せつけるには、派手な外観や飾りを必要としない』(オートモビル・レビュー)という評価からも、その真価を知ることができます。

本質を見抜く目を持つ、 ドライバーのためのクーペ。

クーペは特別なカテゴリーに属する車です。少数に限られたモータリストのために作られた車、それがクーペです。クーペはモータリングの歓びを純粋に追求して作られています。洗練されたスタイリング、贅を尽くしたインテリア、そして内部の高度なテクノロジーが、その事実を証明します。



Mマーク：
現代のパフォーマンス・テクノロジーを代表する、最

高のシンボル。その希少性の高さが、見る者を魅了する。

車のサイズやゆとりだけを単純比較すれば、クーペよりセダンの方が優れているかもしれません。

しかし、クーペはドライバーに目に見えない多くのものを提供します。魅惑的なモータリングの歓びこそ、クーペの本質なのです。そして、BMW M6はクーペの理想を追求した

車です。見る者を魅了してやまないスタイリング。柔かい曲線、流れるようなラインが、本物のクーペであることを語ります。現在、BMWクーペは世界的に著名な2つのモダンアート・ミュージアムに展示されており、その芸術的な価値が認められています。

もちろん、車の真価を支えるのは、単なるルックスだけではありません。BMW M6は広々とした車内、大きなトランク・ルームなど通常のクーペの常識を超えた、優れた実用性を実現しています。

この車はドライバーは言うまでもなく、後部座席の乗客にも素晴らしい快適さをお約束します。

車が内包したパワーを、 実感する時。

BMW M6のボディは最先端テクノロジーを導入して設計されています。その中には精密

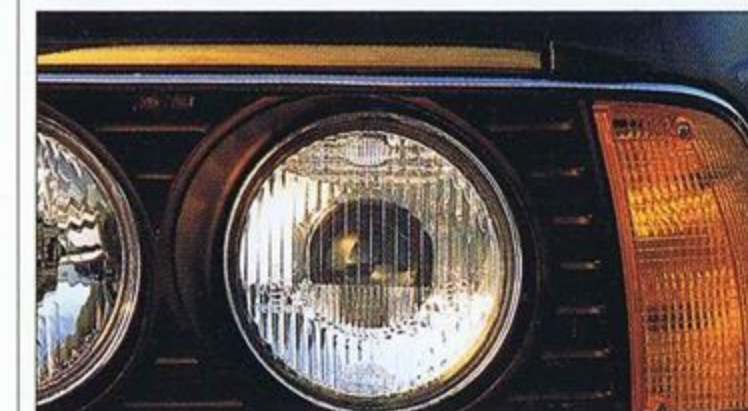
なシャーシと強大なMパワー・エンジンが余裕をもって収められています。

BMWの特長あるラジエター・グリルは効率的に風を取り入れ、冷却用エアを十分に確保する役目を果たします。空カスタイリングを追求しつつ、快適性にも配慮した車、それがBMW M6なのです。

この車は極端な空カスタイリングを採用する

ことなく、極めて効率的なスタイルを実現しています。低い位置に設置されたフロント・エアダム、効率の良いリヤ・スポイラーが、他とは一線を画すハイパフォーマンスカーであることを、さりげなく語ります。

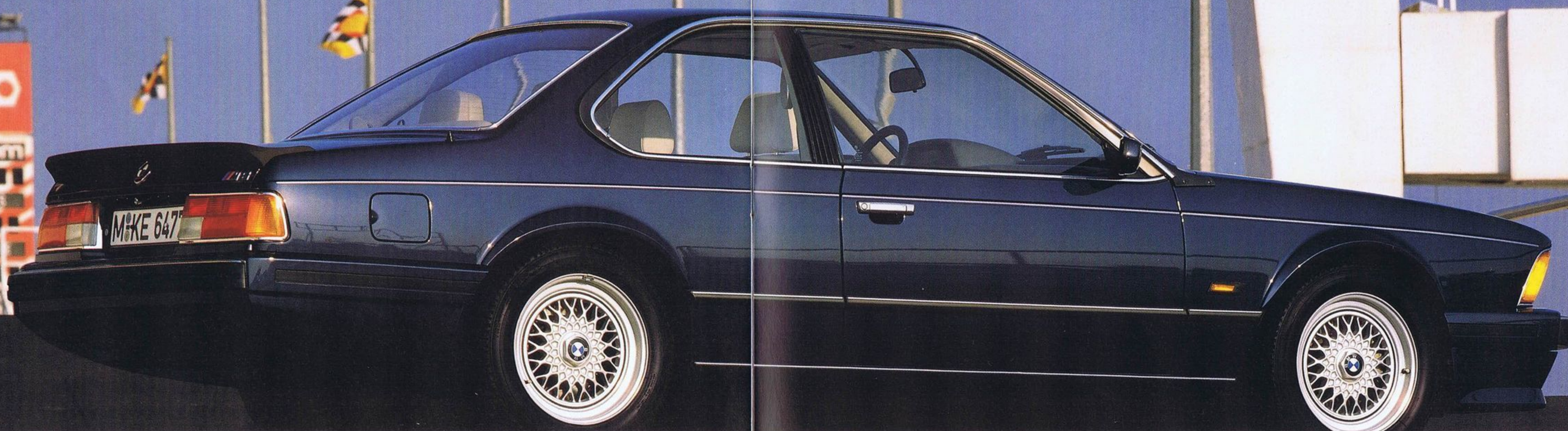
高速走行時にはこのエアダムとスポイラーが、フロントとリヤのアクスルに対して強力なダウン・フォースを発生させます。この結果、



最新の楕円型反射鏡を、ロービームおよびフォグランプに採用。より広く、より明るい光によって、安全性の向上を実現。



衝撃エネルギーを吸収する新型バンパー：世界で最も厳しいアメリカの安全基準を軽くクリア。



最適な操縦性と路面追従性が生まれます。BMW M6は熟成されたスタイリングだけでなく、群を抜く性能や機能までも提供します。

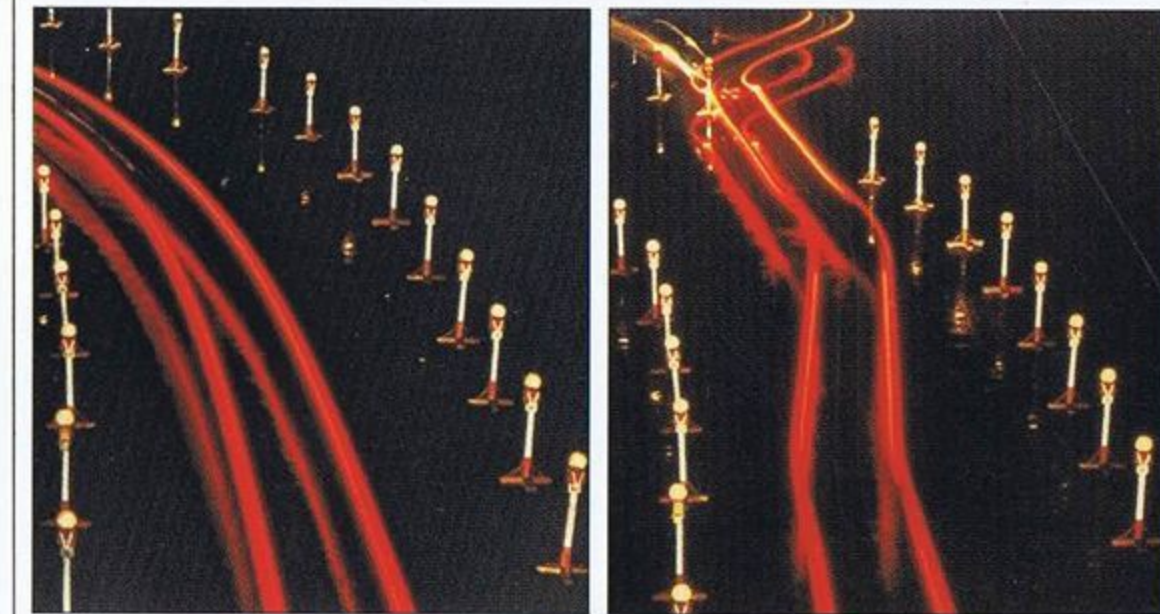
**M1の真価を継承し、
モータリングの歓びを創造。**

BMW M6のエンジン・コンパートメントの中には、伝説的なM1のパワーユニットをベースにした、最強のMパワー・エンジンが格納されています。最高レベルの洗練性とパワーを与えられたこのエンジンは、いったん始動す

ズン回転数で、トップギヤに入れたまま走れるほどの柔軟性を備えています。DMEによってエンジンのアイドル回転は常に一定に保たれ、アクセルを踏み込めば瞬時に反応し、強烈なパフォーマンスを発揮します。静粛で卓越した動力性能が、BMW M6の実力を語ります。

**とぎすませ、
他を圧倒する加速性能。**

BMW M6の加速性能は、世界の最高レベ



高度なサスペンションと、ABSの理想的な組み合わせ。BMW M6は先進のABS/アンチロック・ブレーキングシステムを標準装備し、安全性をさらに向上させている。

れば、あらゆる回転域で際立った実力を示します。

3.5ℓの直列6気筒24バルブ・エンジンが生み出すパフォーマンス・データは、最高出力260ps/6,500rpm(DIN)、最大トルク33.6kg・m/4,500rpm(DIN)。この強靱なパワーユニットは、BMW M6に並ぶものないスポーティ・ダイナミズムを与えています。寒冷時の早朝であったとしても、イグニッション・キーを回せばエンジンはすぐ目覚めます。エンジン・コンパートメントからわずかに聞こえてくる、BMW独自の心地良いエンジン・サウンドがドライバーを魅了します。精密で確実なエンジン制御システム、その核を成すのはDME/デジタル・モーター・エレクトロニクスです。

**魅惑的なエンジン・サウンド、
目を見張るパワー。**

BMW M6を操るドライバーは、すぐそのエンジンの滑らかさに気づかれることでしょう。24バルブのかすかな作動音と排気音、そして独特の吸気音が、このエンジンの背後にあるモータースポーツの血統を伝えます。心地良いエンジン・サウンドだけでなく、実際に走り始めてからの際立ったパフォーマンスも、ドライバーに深い感銘を与えます。この車はアイドル回転をわずかに上回る程度のエン

ルに到達しています。アクセルを踏み込めば、強烈な加速力を発揮し、一気に最高速度の領域に突入します。高性能エンジンとサスペンションは鍛え抜かれた“筋力”を持ち、その有り余るパワーを路面に確実に伝えます。また、この車は高度なエンジン制御システムの導入によって、クラス有数の燃費の良さを実現しています。

一目見ただけで印象的なBMW M6のスタイリング。しかも、じっくりと観察すれば、その中に秘められた実力のすべてを感じ取ることができます。

195TR415ライトアロイ・ホイールと、240/45VR415タイヤを標準装備し、群を抜く安定性と低い重心位置を統合。ホイールのデザインもBMWクーペのスポーティなラインに美しく調和しています。

**サーキットを母体とする
ハイパフォーマンスカー。**

BMWクーペはサーキットをテスト・コースとし、過酷なレースの中で性能、品質、信頼性を高めてきました。BMW M6を担当したエンジニアもまた、レース経験を通じて数々のノウハウを得て、その成果を生産車に投入したのです。

そして、彼らが成し得た技術革新のひとつ

が、定評あるサスペンションのいっそうの改良でした。Mパワー・エンジンを通常の6シリーズ車に搭載しても、何ら問題はなかったのにも関わらず、BMWのエンジニアは敢えて改良に挑んだのです。

BMW M6は熟成されたサスペンション・システムを搭載しています。フロントはダブルジョイント・スプリングストラット、リヤにはセミトレーリングアームを採用。アンチ・ダイブ機構、アンチ・スクワット機構も備えています。前後のアクスルには強化型アンチロール・バーを設置。さらに、フロントには、ガスプレシャー式ショックアブソーバー、リヤにはセルフ・レベリング・サスペンションが装備されています。

徹底的に熟成された、最新鋭テクノロジー。

BMWエンジニアの技術革新力は長距離ドライブ時の快適さと、コーナー走行時の卓抜した操作性を理想的に統合しました。標準装備の240/45VR415タイヤもその目的に適合しており、加速時の優れたグリップと、群を抜く直進安定性を実現しています。

標準装備のライトアロイ・ホイールは制動時のブレーキ熱を効率良く発散させます。しかも、軽量化に貢献しつつ、クーペの美しいスタイルに調和しています。サスペンションに関しても、ダイレクト・トランスミッションや、エンジン回転数感応式パワーステアリングを採用するなど、数々の技術的改善がなされています。

実際にBMW M6を運転されれば、これらの技術革新から生まれた数多くのメリットをすぐに体感していただけることでしょう。BMW社モータースポーツ部門のエンジニアは徹底的なテクノロジーの熟成を通じて、高性能スポーツカーのダイナミズムと、グランド・ツーリングカーの快適さを、ひとつの車の中に統合しました。もちろん、その作業工程の中に一切の妥協は存在しませんでした。

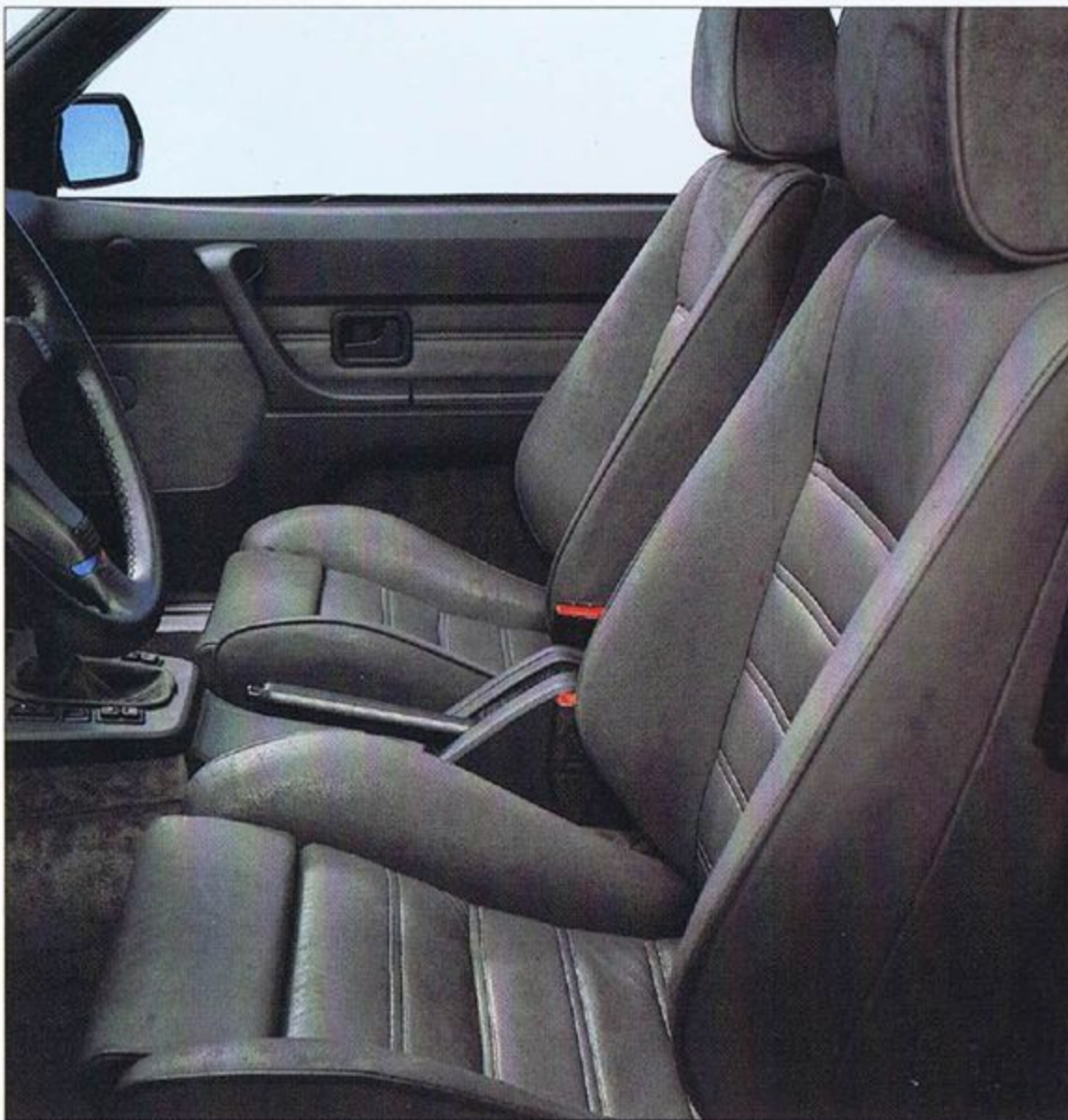
快適そのものの、ドライビング体験のために。

BMW M6の気品あるインテリアはドライバーや同乗者に快適さを約束するだけでなく、優れた数々の機能も提供します。

BMWのオールラウンドなインテリアのデザイン・コンセプトは、世界中で高い評価を受けています。一方では人間工学を徹底的に追求し、他方では美的感覚を重視することで、独自のインテリアが誕生しています。

どのような体格のドライバーであろうと、最適なシート位置を確保し、ハンドルに手を伸ばすことができます。これは高さ、角度、座面長が調整できるシートと、テレスコピック・ステアリング・アジャストメントが貢献しています。ドライバーに合わせて柔軟に調整される車の機能、そこから人とマシンの理想的なインターフェイスが生まれます。

人間工学の研究から生まれたフロントシート：優れた調整機能を持ち、常に最適なポジションを提供。人とマシンの理想的なインターフェイスを創造している。



リラックス空間を作る、 4つのシート。

特別に設計されたBMWスポーツ・シートは、長距離ドライブの際の疲労感を軽減し、コーナーでは確実にドライバーをサポートします。また、このシートは路面のフィーリングを確実に伝えるため、ドライバーは常に運転状況を把握することができます。

BMW M6の後部座席も、十分な機能を備えています。通常のクーペにありがちな形だけの狭いシートではなく、要求の高い方にも十分に満足していただける、人間工学設計の快適なシートを採用しています。さらに、後部座席専用エアコンディショナーが標準装備され、快適性はさらにまっています。

知性あふれる、 エレクトロニクスの司令塔。

安全なモータリングを実現するには、人とマシンが一体となって、俊敏に操作する必要があります。素早く情報を入手し、的確な反応を示さなくてはならないのです。

BMW M6のコントロール類とスイッチ類は、ドライバーを取り囲むように配置されています。ドライバーの左側にはAC/アクティブ・チェック・コントロールが常に作動可能な状態で設置され、ライト切れや、エンジン・オイル・レベルが下がった場合には、すぐに警告を発します。このための警告灯は、ドライバーの見やすい位置にセットされています。

ドライバーの右側にはエアコンディショナーのスイッチがあります。また、重要な8つの機能を持つオンボード・コンピュータも設置されています。これはターン・インジケータ・レバーからリモート・コントロールできるため、ドライバーはハンドルから手を離す必要はありません。オンボード・コンピュータは外気温モニター、平均速度表示、燃料の残量表示など、多彩な機能を発揮します。

280km/hまで刻まれた速度計、回転計、燃料計、水温計なども最も見やすい位置にセットされており、ドライバーは何の苦労もなく情報を入手することができます。

求められる数多くの機能を、 車の中に投入。

BMW M6の標準装備は極めて充実しています。たとえば、セントラル・ロッキング・システムはドアだけでなく、トランクや燃料タンクの給油口にまで及びます。駐車時にはセーフティ・ロックがドアを守ります。

フロントウインドー・ウォッシャー・ノズルは加熱式になっており、厳寒期でもシステムが凍結するようなことはありません。グローブ・ボックスの中には便利な小型のハンドランプが設置されています。このハンドランプは脇に付けられた電源ソケットで充電することができます。室内灯にはディレイ機能を備えてお

り、車に乗り込みドアを閉めても、数秒間、室内灯が点灯するため、イングニッション・キーを容易にシリンダーに差し込むことができます。パワー・ウインドーは4つのモーターで滑らかに開閉します。もちろん、エアコンディショナーも標準装備しています。BMW M6は特別なオプションをオーダーすることなく、十分な満足感を味わうことができます。

BMW M6: 洗練されたテクノロジーと エレガンスを高レベルで統合。

BMW M6は傑出したダイナミズムと機能的なスタイリングを、最高の形で統合しています。その優美な気品とたたずまいは、派手に飾り立てた他のハイパフォーマンス車と、明確な一線を画しています。優れたダイナミズム、エレガントなヨーロピアン・スタイリング、洗練されたモータリング、そして後部座席にもゆとりあるスペースを求められるモータリストにとって、BMW M6は最良の選択となることでしょう。

BMWクーペは革新的コンセプトを体現し、

超高級車の世界でユニークな存在になっています。つまり、この車は並外れた性能とダイナミズムだけでなく、長距離走行時におけるモータリングの快適さまでも実現しているのです。

絶え間なく最新のテクノロジーによって改良されるコックピット、優れた人間工学コンセプトを投入したインテリアの中で、ドライバーは卓越したエンジンのパワーを享受することができます。BMW M6はドライバーに何ら犠牲を強いることなく、快適なツーリングの喜びを満喫していただけます。

BMW M6の真価は、 ドライバーの資質を抜きにして 語ることはできません。

BMWはM6の導入によって、ドライバーに大きな自由、よりダイナミックな行動力、より明確な独立の気風を約束します。M6を選択される方は、人生に対しても明らかにスポーティな態度を示されます。それはモータリングにおけるスポーツマンシップだと言ってもいいでしょう。

このような素晴らしい資質は、現代のモータリング社会を生きるすべての人々にメリットをもたらしています。注意深いドライバーは運転そのものの技量も優れており、路上でゆとりを持ちながら安全を確保できるからです。

BMW M6のように傑出した車を運転されるドライバーの方は、純粹かつ高度な性能をモータリングの喜びとする方法を熟知されているに違いありません。いま、BMWは見識あるモータリストの知的ライフスタイルを、最強のモデルでバックアップします。



通常の“ラグジュアリー・サルーン”を完全に凌駕する、BMW M6の洗練性。標準装備の後部座席専用エアコンディショナーによって、車内の快適さはより大きく。

SPECIFICATIONS

M3

M5

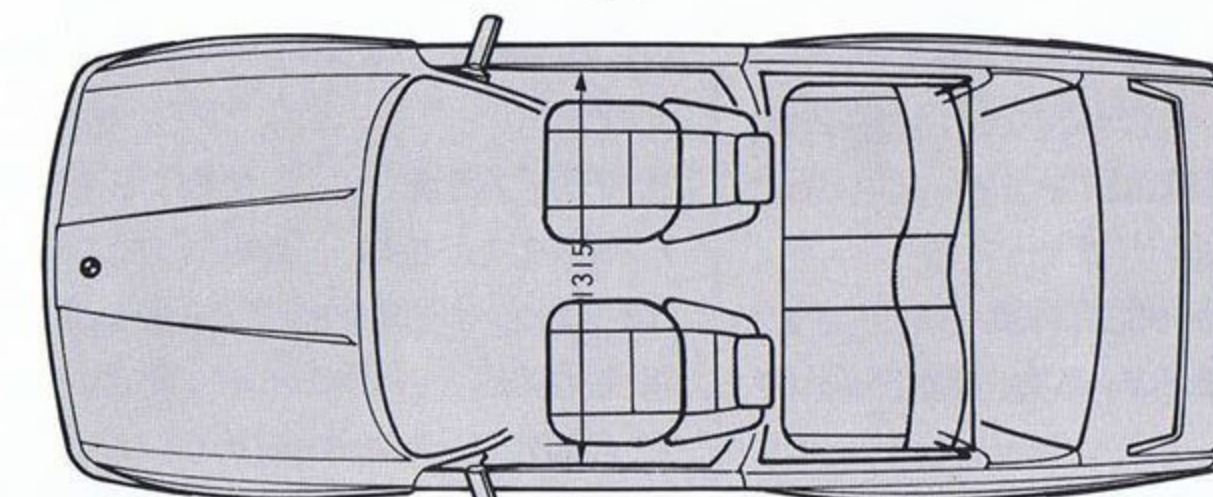
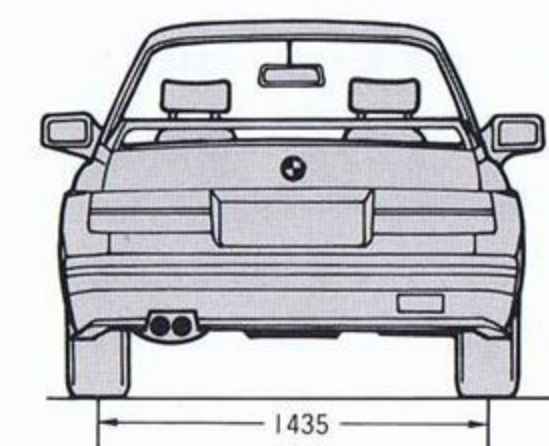
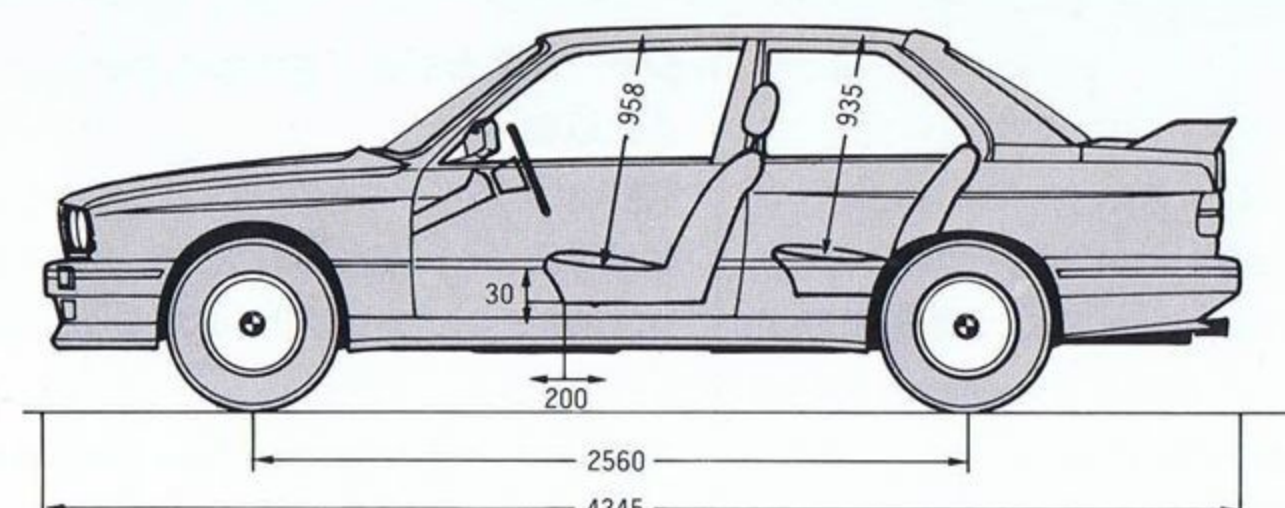
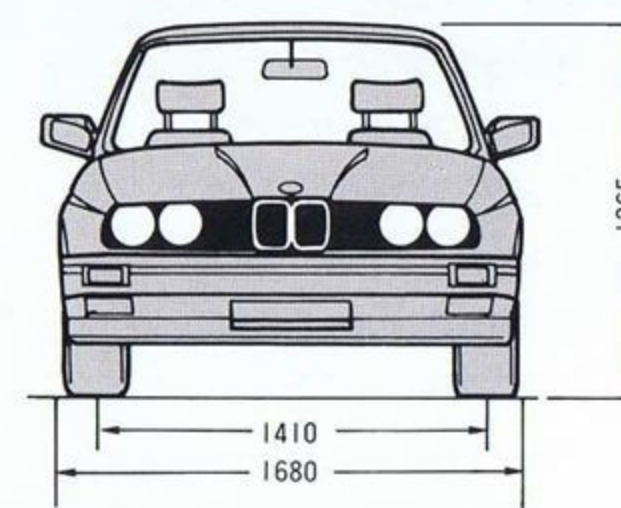
M6

主要諸元			
●車種記号	M3	M5	M6
	2ドア	4ドア	2ドア
●寸法			
全長 mm	4,345	4,620	4,815
全幅 mm	1,680	1,710	1,740
全高 mm	1,365	1,395	1,355
ホイールベース mm	2,560	2,625	2,630
トレッド(前) mm	1,410	1,430	1,435
トレッド(後) mm	1,435	1,470	1,460
室内寸法(長) mm	1,705	1,825	1,755
室内寸法(幅) mm	1,315	1,375	1,443
室内寸法(座面より天井高) mm	1,100	1,170	946
●重量・定員			
車両重量 kg	1,280	1,540	1,610
車両総重量 kg	1,500	1,815	1,830
定員 名	4	5	4
●性能			
最小回転半径 m	5.55	5.65	5.8
●エンジン			
種類	直列4気筒DOHC	直列6気筒DOHC	直列6気筒DOHC
総排気量 cc	2,302	3,453	3,453
圧縮比:1	10.5	9.8	9.8
最高出力 ps/rpm(DIN)	195/6,750	260/6,500	260/6,500
最大トルク kgm/rpm(DIN)	23.4/4,750	33.6/4,500	33.6/4,500
燃料供給装置	レジェトロニック電子燃料噴射装置+デジタル・モーター・エレクトロニクス(DME)	レジェトロニック電子燃料噴射装置+デジタル・モーター・エレクトロニクス(DME)	レジェトロニック電子燃料噴射装置+デジタル・モーター・エレクトロニクス(DME)
燃料/タンク容量 ℓ	無鉛ハイオク/55+15	無鉛ハイオク/70	無鉛ハイオク/70
●動力伝達装置			
クラッチ	乾燥単板ダイヤフラム油圧式	乾燥単板ダイヤフラム油圧式	乾燥単板ダイヤフラム油圧式
トランスミッション	5速スポーツギヤボックス	5速スポーツギヤボックス	5速スポーツギヤボックス
●駆動装置			
変速比(1速)	3.830	3.514	3.514
// (2速)	2.200	2.080	2.080
// (3速)	1.400	1.354	1.354
// (4速)	1.000	1.000	1.000
// (5速)	0.810	0.810	0.810
// (後退)	3.460	3.705	3.705
最終減速比	4.100 25%LSD	3.910 25%LSD	3.910 25%LSD
●操向装置			
ステアリング型式	ラック&ピニオン式/パワーステアリング	ボールナット式/パワーステアリング	ボールナット式/パワーステアリング
●制動装置			
主ブレーキ形式(前)	ベンチレーテッド・ディスク	ベンチレーテッド・ディスク	ベンチレーテッド・ディスク
主ブレーキ形式(後)	ディスク	ディスク	ディスク
制動力制御装置	ABS	ABS	ABS
ブレーキ倍力装置	油圧倍力式	油圧倍力式	油圧倍力式
駐車ブレーキ形式	機械式(内部拡張式)	機械式(内部拡張式)	機械式(内部拡張式)
●タイヤ/ホイール			
タイヤ	205/55VR15	225/50VR16	240/45VR415
ホイール	7J×15アロイ	7.5J×16アロイ	195TR415アロイ

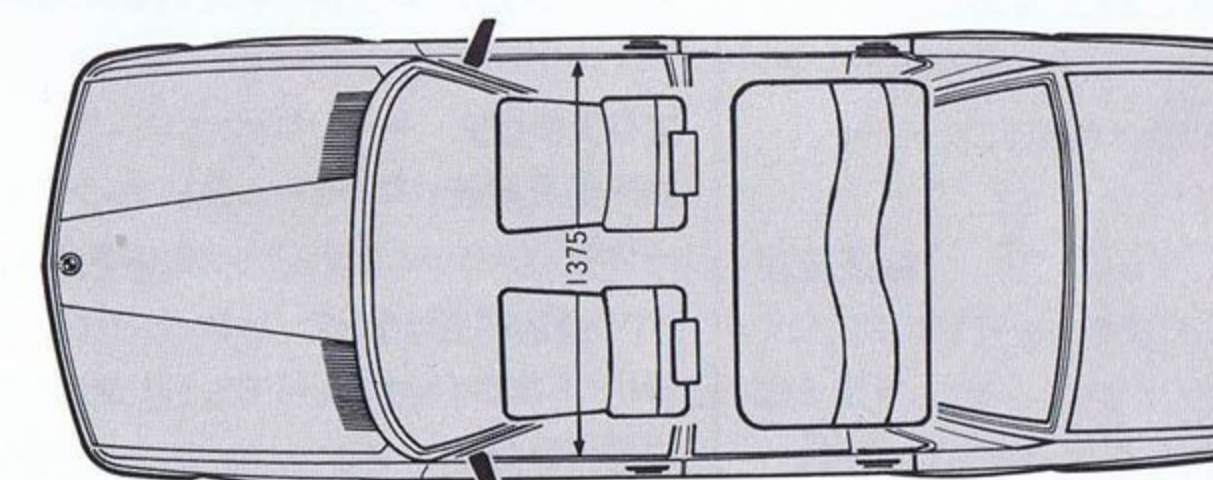
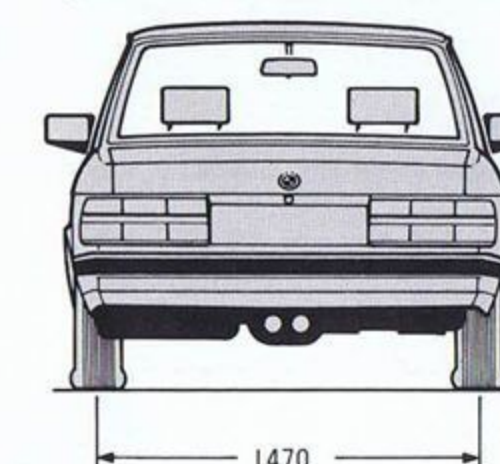
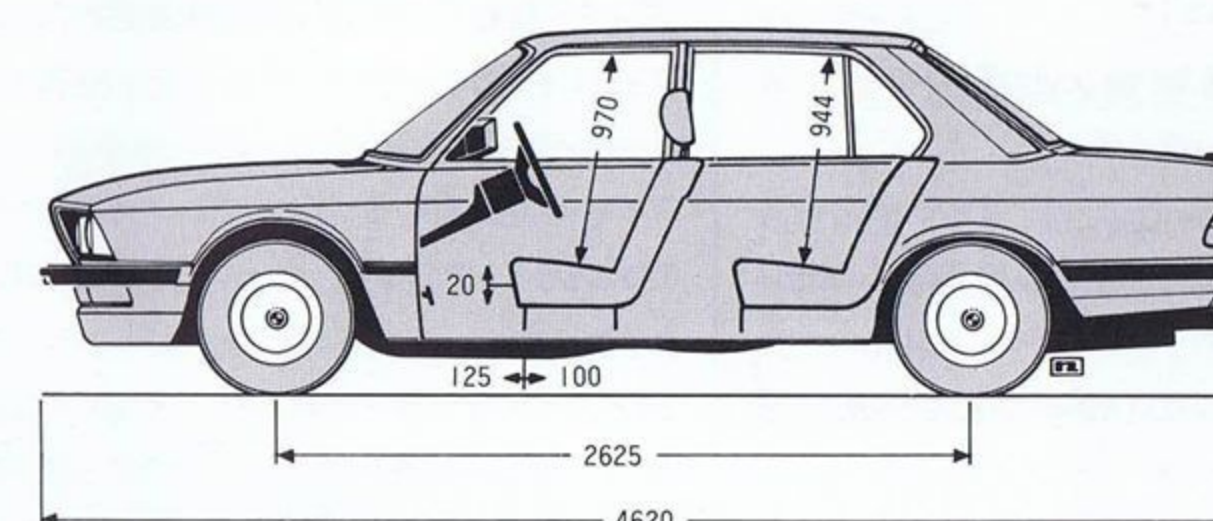
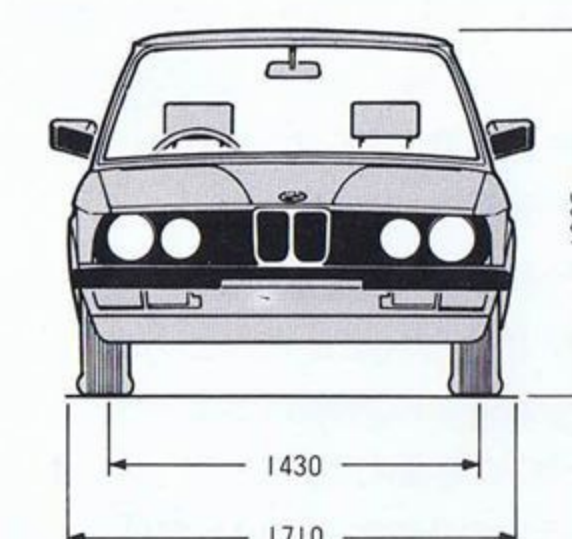
●本仕様は、改良のため予告なく変更することがあります。
 ●本カタログ記載事項は、西ドイツBMW AG公表の日本仕様車実測データに基づいています。従いまして、運輸省の表記基準に基づき近似値を採用している運輸省申請値とは異なる場合があります。

EXTERNAL AND INTERNAL DIMENSIONS

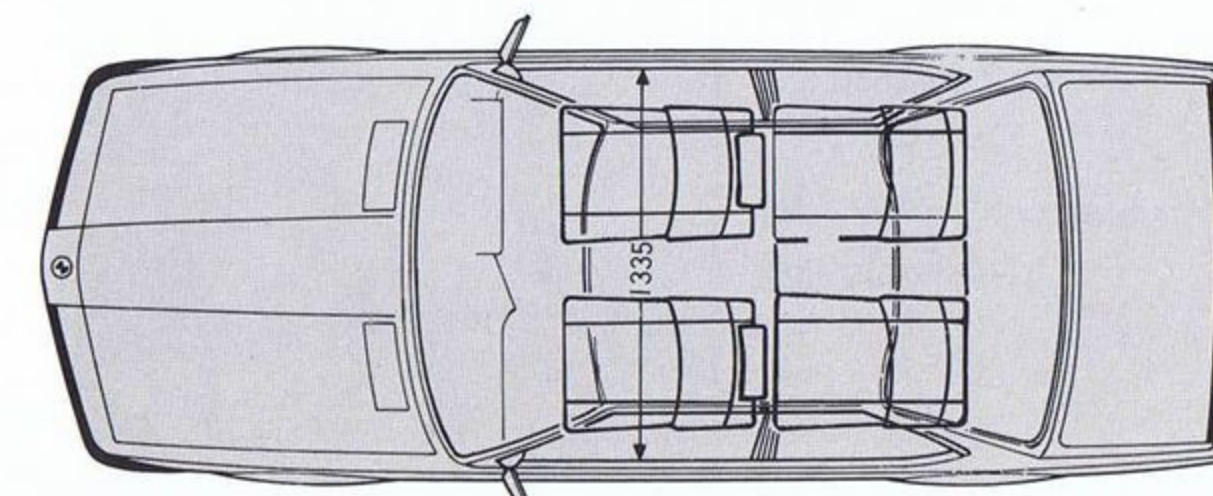
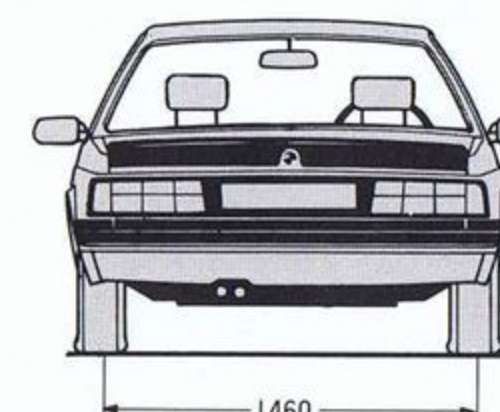
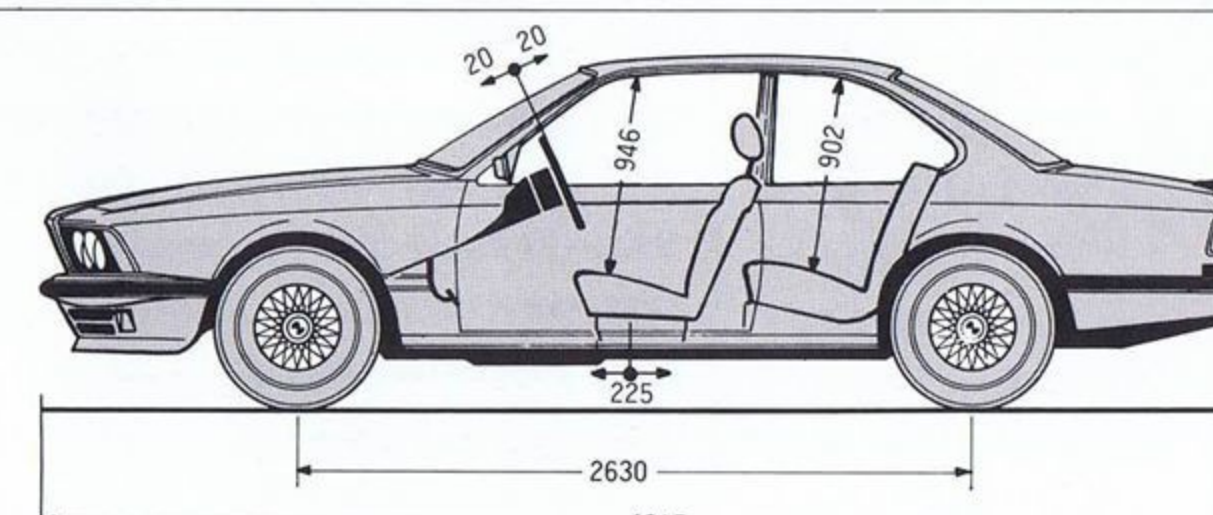
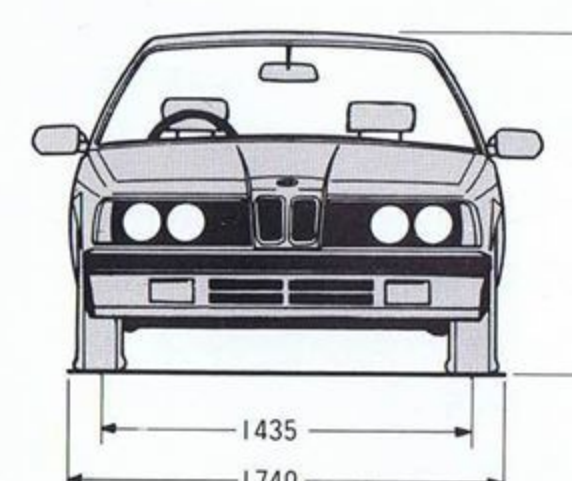
M3



M5



M6



ボディ

2ドア・セダン
モノコックボディ
ねじれ剛性の高いセーフティ・セル
前後のクラッシュ・ゾーンによる衝撃吸収ボックス構造
一体型ルーフ・クロスバー
55ℓ + 15ℓ 燃料タンク

エンジン

DOHC水冷直列4気筒エンジン
16バルブ軽合金シリンダー・ヘッド
クロスフロー式半球型燃焼室
5ベアリング付きダブル・オーバーヘッド・カムシャフト
5個のベアリングと8個のカウンターウエイト付きクランクシャフト
油圧ダンパー式エンジン・サポート
エンジン・オイル・クーラー
電動ファン
燃料噴射量と点火時期を制御するDME/デジタル・モーター・エレクトロニクス
オーバーラン・コントロール付き燃料供給装置
ツイン・エキゾースト・パイプ

シャーシ/トランスミッション

後輪駆動
5速スポーツ・ギヤボックス
乾燥単板ダイヤフラム油圧式クラッチ
シングルジョイント・スプリングストラット・フロントアクスル
スリープバック角15度のセミトレーリングアーム・リヤアクスル
25%のロックキング・アクション付きリミテッド・スリップデフ
アンチダイブ機構
アンチスクワット機構
ガスプレッシャー式ショックアブソーバー(フロント/リア)
リヤの強化アンチロール・バー
セーフティ・ステアリング・コラム
エンジン回転数感応式パワー・ステアリング
フィストキャリパー・ベンチレーテッド・ディスク・ブレーキ(フロント)
フィストキャリパー・ディスク・ブレーキ(リヤ)
7J×15ライトアロイ・ホイール、205/55VR15
タイヤ
非アスベスト・ブレーキパッド
真空式ブレーキサーボ
ABS/アンチロック・ブレーキング・システム

エクステリア

楕円型反射鏡式ロービーム及びフォグランプ
一体型バンパーとプラスチック製エアダム
リヤウイング付きトランク・リッド
張り出したサイドパネル(フロント/リヤ)
大型ドア・シル
ボディと同色のドアミラー
サテン・クローム(シャドウライン)
ボディ接着式のフロントおよびリヤウインドー
グリーンの遮熱ガラス
ラミネート・フロントウインドー
防錆処理
ポップアウト・リヤ・サイド・ウインドー
ルーフ・ラジオ・アンテナ

インテリア

ベロア・フロア・カーペット
ロック式グローブ・ボックス
インストルメント・パネルの格納ボックス
センターコンソール(フロント/リヤ)
ドアの格納ボックス(フロント)
照明付き灰皿とシガーライター
Mテクニク製のレザー・スポーツ・ステアリング(左ハンドル)
レザーで被覆されたシフトレバー・ノブ
レザー仕上げのハンドブレーキ・カバー
フロント・ルーフピラーのセーフティ・パッドイング
膝回りのセーフティ・パッドイング
高さ、角度、座面長を調整できるBMWスポーツ・シート
角度調整できるフロントのヘッドレスト
後部座席バケット型シート
ベルトリテーナー付きのシートベルト(フロント/リヤ)
バックレストに格納できるシートベルトロック
トランク容量420ℓ
トランク・リッドに収納されたツール・キット

電気系統

楕円型反射鏡式ロービーム及びフォグランプ
フロントスポイラー一体型フォグランプ
電動式ドアミラー
セントラル・ロックキング・システム
SI/サービス・インターバル・インジケータ
AC/アクティブ・チェック・コントロール
第3世代オンボード・コンピュータ(ターン・インジケータ・レバーからリモート・コントロールも可能)
フロントウインドー・ウォッシャー/ワイパー
ディレイ機能付き室内灯
マップ・リーディング・ランプ
ハンド・ランプ
リヤウインドー・ヒーター
エアコンディショナー
AM/FMステレオ・カセット・システム

ボディ

4ドア・セダン
モノコックボディ
ねじれ剛性の高いセーフティ・セル
前後のクラッシュ・ゾーンによる衝撃吸収ボックス構造
一体型ルーフ・クロスバー
70ℓ 燃料タンク

エンジン

DOHC水冷直列6気筒エンジン
24バルブ軽合金シリンダー・ヘッド
クロスフロー式半球型燃焼室
7ベアリング付きダブル・オーバーヘッド・カムシャフト
7個のベアリングと12個のカウンターウエイト付きクランクシャフト
油圧ダンパー式エンジン・サポート
エンジン・オイル・クーラー
電動ファン
燃料噴射量と点火時期を制御するDME/デジタル・モーター・エレクトロニクス
オーバーラン・コントロール付き燃料供給装置
高耐久性ツイン・エキゾースト・パイプ

シャーシ/トランスミッション

後輪駆動
5速スポーツ・ギヤボックス
乾燥単板ダイヤフラム油圧式クラッチ
ダブルジョイント・スプリングストラット・フロントアクスル
スリープバック角13度のセミトレーリングアーム・リヤアクスル
25%のロックキング・アクション付きリミテッド・スリップデフ
アンチダイブ機構
アンチスクワット機構
ガスプレッシャー式ショックアブソーバー
レベルコントロール・リヤサスペンション
セーフティ・ステアリング・コラム
テレスコピック・ステアリング
エンジン回転数感応式パワー・ステアリング
2重回路のブレーキ・システム
フィストキャリパー・ベンチレーテッド・ディスク・ブレーキ
(フロント)
フィストキャリパー・ディスク・ブレーキ(リヤ)
7.5J×16ライトアロイ・ホイール、225/50VR16タイヤ
非アスベスト・ブレーキパッド
油圧式ブレーキサーボ
ABS/アンチロック・ブレーキング・システム

エクステリア

ラバートリムとストリップによる車体保護
ボディと同色のホイール・アーチ
Mテクニク製のスポイラー(フロント/リヤ)
ガスプレッシャー式トランク・リッド
ボディと同色のドアミラー
ボディ接着式のフロントおよびリヤウインドー
サテンクローム塗製(シャドウライン)
グリーンの遮熱ガラス
ラミネート・フロントウインドー
加熱式リヤウインドー
電動ガラス・サンルーフ
防錆処理

インテリア

フロアとトランク内のベロア・カーペット
ロック式グローブ・ボックス
センターコンソール(フロント/リヤ)
ドアの格納ボックス(フロント)
照明付き灰皿とシガーライター
Mテクニク製のレザー・スポーツ・ステアリング(左ハンドル)
レザーで被覆されたシフトレバー・ノブ
レザー仕上げのハンドブレーキ・カバー
フロント・ルーフピラーのセーフティ・パッドイング
膝回りのセーフティ・パッドイング
防眩ルームミラー
高さ、角度、座面長を調整できるBMWスポーツ・シート
角度調整できるフロントのヘッドレスト
センターアームレスト付きの後部座席バケット型シート
ベルトリテーナー付きのシートベルト(フロント/リヤ)
バックレストに格納できるシートベルトロック
トランク容量450ℓ
トランク・リッドに収納されたツール・キット

電気系統

フロントスポイラー一体型フォグランプ
電動式ドアミラー
セントラル・ロックキング・システム
SI/サービス・インターバル・インジケータ
AC/アクティブ・チェック・コントロール
第3世代オンボード・コンピュータ(ターン・インジケータ・レバーからのリモート・コントロールも可能)
フロントウインドー・ウォッシャー/ワイパー
ディレイ機能付き室内灯
マップ・リーディング・ランプ
ハンド・ランプ
リヤウインドー・ヒーター
エアコンディショナー
パワーウインドー
AM/FMステレオ・カセット・システム
電動フロントシート

ボディ

2ドア・クーペ
モノコックボディ
ねじれ剛性の高いセーフティ・セル
プログラムされた形状変化特性を持つ前後のクラッシュ・ゾーン
衝撃吸収ボックス構造
一体型ルーフ・クロスバー
70ℓ燃料タンク

エンジン

DOHC水冷直列6気筒エンジン
24バルブ軽合金シリンダー・ヘッド
クロスフロー式半球型燃焼室
7ベアリング付きダブル・オーバーヘッド・カムシャフト
7個のベアリングと12個のカウンターウエイト付きクランクシャフト
油圧ダンパー式エンジン・サポート
エンジン・オイル・クーラー
電動ファン
燃料の噴射量と点火時期を制御するDME/デジタル・モーター・エレクトロニクス
オーバーラン・コントロール付き燃料供給装置
高耐久性ツイン・エキゾースト・パイプ

シャーシ/トランスミッション

後輪駆動
5速スポーツ・ギヤボックス
乾燥単板ダイヤフラム油圧式クラッチ
ダブルジョイント・スプリングストラット・フロントアクスル
スリープバック角13度のセミレーシングアーム・リヤアクスル
25%のロックキング・アクション付きリミテッド・スリップデフ
アンチダイブ機構
アンチスクワット機構
ガスプレッシャー式ショックアブソーバー
セルフレベリング・リヤサスペンション
セーフティ・ステアリング・コラム
テレスコピック・ステアリング
エンジン回転数感応式パワー・ステアリング
2重回路のブレーキ・システム
油圧式ブレーキ・サーボ
フィストキャリパー・ベンチレーテッド・ディスク・ブレーキ(フロント)
フィストキャリパー・ディスク・ブレーキ(リヤ)
195TR415ライトアロイ・ホイール、240/45VR415タイヤ
非アスベスト・ブレーキパッド
ABS/アンチロック・ブレーキング・システム

エクステリア

楕円型反射鏡式ロービーム及びフォグランプ
ラバートリムとストリップによる車体保護
ボディと同色のホイール・アーチ
衝撃吸収型スポイラー(フロント)
トランク・リッド上のMテクニック製のスポイラー(リヤ)
ガスプレッシャー式トランク・リッド
ボディと同色のドアミラー
ボディ接着式のフロントおよびリヤウインドー
グリーン遮熱ガラス
ラミネート・フロントウインドー
加熱式リヤウインドー
防錆処理

インテリア

バツファロー・レザー仕上げ
フロアとトランク内のベロア・カーペット
ロック式グローブ・ボックス
インストルメント・パネルの格納ボックス
センターコンソール(フロント/リヤ)
ドアの格納ボックス(フロント)
照明付き灰皿とシガーライター
Mテクニック製のレザー・スポーツ・ステアリング(左ハンドル)
レザーで被覆されたシフトレバー・ノブ
レザー仕上げのハンドブレーキ・カバー
フロント・ルーフピラーのセーフティ・パディング
フロントガラス上部のサンバイザー付きセーフティ・パディング
膝回りのセーフティ・パディング
防眩ルームミラー
高さ、角度、座面長を調整できる電動BMWスポーツ・シート(メモリー付)
角度調整できるフロントのヘッドレスト
センターアームレスト付きの後部座席バケット型シート
リヤウインドー・ローラーブラインド
ベルトリテーナー付きのシートベルト(フロント/リヤ)
バックレストに格納できるシートベルトロック
トランク容量335ℓ
トランク・リッドに収納されたツール・キット

電気系統

楕円型反射鏡式ロービーム及びフォグランプ
フロントスポイラー一体型フォグランプ
電動式ドアミラー
セントラル・ロックキング・システム
SI/サービス・インターバル・インジケータ
AC/アクティブ・チェック・コントロール
第3世代オンボード・コンピュータ(ターン・インジケータ・レバーからのリモート・コントロールも可能)
フロントウインドー・ウォッシャー/ワイパー
ディレイ機能付き室内灯
マップ・リーディング・ランプ
ハンド・ランプ
リヤウインドー・ヒーター
エアコンディショナー
AM/FMステレオ・カセット・システム
リヤ・エアコンディショナー
CDオートチェンジャー

BMW Japan Corp.正規代理店で、信頼性豊かなサービスを。

BMW Japan Corp.正規代理店では、ドイツ本社が日本の気候や道路事情に合わせて改良を加え、優れた数々の標準装備を採用したBMW車をご用意しています。また、先進のテクノロジーを搭載した車にふさわしい、革新的なオート・ローンおよびリース・プログラムも導入しています。皆様のライフスタイルを際立って个性的に表現するBMW車の真価を、ぜひBMW Japan Corp.正規代理店でご体験ください。全てのスタッフは情熱と誠意を持って、仕事と取り組んでいます。ご購入方法からアフターサービスまで、お気軽にご相談ください。

オーナー・ニーズに応える、高度なサービス体制。

BMW車の優れた性能を100%を引き出し、そのテイストを十分に堪能していただくには、クオリティの高いアフターサービスが必要で、BMW Japan Corp.正規代理店では、ドイツ本社と同じシステムで厳格な教育訓練を受けたメカニックを配置し、あらゆる状況に対応できるよう努めています。また、470種類に及ぶ専門工具を使用するなど、卓越した車にふさわしい、優れたメンテナンス体制を作り上げています。さらに、サービスの信頼性を高めるべく、コンピュータを使った専用テスターを導入し、複雑なメカ

ニズムの状態を瞬時に判断できるようにしています。全国に広がったBMW Japan Corp.正規代理店のネットワークが、皆様のモータリングライフを力強くバックアップいたします。

確実で、しかもスムーズな、純正パーツ供給体制。

また、サービスの質は技術だけでなく、交換パーツの品質によっても左右されます。BMW Japan Corp.では純正パーツを安定して供給できるよう、年ごとに体制を強化しています。そのひとつの成果が、千葉県松尾台に建設したBMW総合サービス・センターです。この敷地面積26,458㎡の規模を誇るセンターでは、先進のコンピュータ制御システムを導入し、効率化を図っています。現在では、各サービス拠点からの要求に対して、通常の場合なら、96%のパーツを24時間以内で供給できる即応体制を確立しています。オーナーの方に安心と信頼をお約束するために、BMW Japan Corp.と正規代理店は一体となって、これからもより優れたサービス体制作りを進めていきます。



© BMW AG, Munich/
West Germany.
Not to be reproduced wholly or in part without written permission of BMW AG, Munich.
8 11 15 01 70
2/88 VM Printed in West Germany 1988.

BMW Japan Corp.
西独BMW全額出資の日本法人

